

北海道の道路管見〔二〕

枝 川 生

街頭雜觀

道内の首都として政治文化の都たる札幌市を初めとし、

商工業都市たる函館、小樽、旭川、釧路及室蘭の各市に於ける街路は一樣に悪い、尤も歩車道の區別を設け、或は路幅を擴張し、或は路面の舗装を施す等漸次改良されてはゐるが、未だ僅少の區域に止まつてゐる。路面の悪いのは氣候や降雪等の關係もさることながら、概して道路の維持修繕が不充分であること、それから一般に道路愛護の念に乏しいことも其の原因を爲してゐるやうに思はれる。各市とも都市計畫法の施行都市であり、既に街路計畫の決定を見た向もあるが、これから計畫に着手せらるゝところもあつて是等の計畫を事業として、其の實施を見る迄には猶相當

の時日を要することであらう。函館市内の街路に付ては別項の通り併用軌道の舗装問題があるが坂本市長に於て專ら其の解決に盡力されてゐる。小樽市内は地形上坂路の多いのと、鐵道函館本線が市の南から北へ貫通してゐる外に、手宮支線が敷設されてゐるので、踏切の多いことが目につく、數年前に主要街路に在る二十二箇所の踏切に於ける交通量、遮斷回数、閉塞時間、遮斷人員及これによつて生ずる損失の推定額に就て詳しい調査を行つたものがあつて、其の結果は可なり大きな數字となつてゐる。この踏切の整理は極めて必要でありまた骨の折れる大仕事であつて、街路の改良と交通の保全上に大きな惱みとなつてゐる。札幌市と旭川市とは何れも街衢整然としてゐて、舗装された主要街路の一部は帝都のそれにも劣らないやうなものもある

が、舗装されぬ道路が多く、雨の日の泥や風の日の埃は行人を悩ますことも尠くない。札幌市内の地方費道札幌浦河線豊平川に架する豊平橋（鋼製繫拱橋、有效徑間百二十八呎三連全長三百九十六呎、幅員六十呎、工費六十五萬八千餘圓、大正十三年八月竣功）と釧路市内の地方費道札幌根室線釧路川に架する磐舞橋（鋼鈹橋、徑間七十二尺五連、幅員六十尺、工費七十五萬圓、昭和三年三月竣功）の兩橋は現在北海道に於ける代表的橋梁として知られてゐるが、目下起工中の旭川市内の地方費道旭川稚内線石狩川に架す旭橋の架換工事（突構桁式繫拱橋、全長七百七十三呎六、幅員六十呎、工費百四十二萬五千餘圓）の竣功の上は、斷然道内第一の橋梁として唱はれるであらう。練の不漁で苦しんでゐる漁村の人達は、都會の一橋梁の改良に投ずる金があれば、多くの漁港や船入瀬が修築されて、この深刻なる漁村の不況を轉換することも出来やうものをもと羨望の聲を洩らしてゐたし、問題の札幌國道の改良も容易であると語る人もあつて、兎角それほどに此旭橋の架換工事は廣い

道内の噂の種となつてゐる。

市内の交通機關として共通的なものは、乗合自動車である。何れの市も鐵道停車場を起點として主要街路を走つてゐる。外に圓タクもあり、貸切車もある。市内電車の動いてゐるのは、札幌、旭川及函館の三市。小樽は市營の特許を得た儘。室蘭には市の出願を始め二三の競願があり、釧路にも出願中のものがある。札幌市内電車は、先年札幌電氣軌道を市營に買収したものである。函館市内電車は函館水電株式會社の經營に係り、往年市に買収の計畫を立てたこともあつたが、未だ實現するに至つてゐない。小樽市内の電車は木田川市長の努力で之が敷設計畫（延長四哩二六鎖、建設費二百二十六萬圓）を樹立し、昭和四年三月基の特許を得たが、其の後に至り一部に於て電車に代へる乗合自動車説が起つて、折角の計畫も一頓挫の形であるが近く何とか解決されることと考へられる。土地に起伏の多い、降雪量の多い本市としては、日常市民の活動上から見ても交通機關の整備は急務である。旭川市内の電車は、當初市

の出願を始め多數の競願があつて一寸混雜を呈してゐたが、市が其の計畫を他日に譲ることとなり、現在の旭川市街電氣軌道株式會社の發起人に對して特許されたものであるが、特許後は一氣呵成に實現して、其の開業の早かつたことは、近來のレコードを握つてゐるといふわけで、會社の主腦者はお自慢の鼻を高くしてゐる。

乍序上水道を布設してゐる市は、函館、小樽、室蘭及釧路で、札幌と旭川とは未設である。下水道は函館と目下築造工事中の札幌の二市のみである。函館市の水道は明治二十一年の創設に係り、横濱市（明治十八年）に次で我國の水道史上に古い歴史を持つてゐる。そして長崎（明治二十二年）、東京大阪の兩市（明治二十五年）、神戸市（明治三十年）、京都名古屋の兩市（明治四十二年）の各大都市に對して一日の長があり、當時の各都市の文化的施設の状況も想像されて面白い。この函館市では水道の貯水池を遊ばして置くのはむだなことといふので、紅鱒の養殖を企て、水源池の一隅に孵化場を設けて放魚の準備中である。貯水池に

放魚することは魚類の排糞の爲に水質は、アンモニアの含有量を幾分増すかも知れぬが、水中の微生物を喰ふから差引勘定はつくとのお話であつたが、未だ準備時代で果してどんな結果が生れるものやら、大阪市の水道は其の源水を淀川から取水する關係上、鐵管に吸ひ込まれた魚卵が貯水池で孵化發育して、毎年行はるゝ池の大掃除の時は恰も汐干狩のやうな光景であるとの話もあり、東京市水道の村山貯水池は禁獵區として鳥類の安全地帯となつてゐるので毎年この水面に浮ぶ鴨は其の數、萬を以て算し、其の排糞量は實に、〇、數噸に上るといふわけで、水道當局では二百萬市民の飲料水の源水の水質に及ぼす影響を重大視し、其水質試験の主任者は、檢鏡材料を得る爲めに鳥の種類と數量を限つて特に狩獵することを許されて、附近の狩獵家をして垂涎萬丈たらしめてゐる。斯くの如く貯水池に天然自然に魚鳥の棲息することを考へたら、積極的な函館市の企ては、空地空間の利用上から觀て適切な措置であるかも知れぬが、養魚と聽くだけでも水道の水が生臭くなるやうな感

じがするやうだ。釧路市の水道は源水を釧路川の表流水を引用してゐるが、其の貯水池の上流に鑛山があつて、著しく河水を汚濁して、水源池に貯水された、源水を一見したら、雨後の溜池のやうであるが、一度淨水池に送り込まれたらまるで手品のやうに淨化されてゐる。この淨化装置に關しては相當の經費を要し且永久的の支出であるが、他に適當な水源を得ることの困難なる本市としては餘儀ないことであるが、佐藤市長はこの源水の改善に着眼して、目下種々調査と研究をやつてゐられる。それからこの釧路市の水道布設當時面白い挿話がある。それは某實業家が水道資金を外資に求むるもの誤聞して、某米國實業家に之を圖りたるに、該米國人は曰く釧路市ならば相談に應じてもよい、我々米人は釧路港は米國直近の要港として、米露航路の中繼港として其の將來に甚大なる望みをかけてゐるとの意外の答に某實業家は驚いたとのことである。札幌市が水道を後にして先づ下水道から着手したのは他の都市と其の行き方を異にしてゐるが、上水道の布設も極めて緊切であつて、

路面の鋪裝と共に市の當面の要務となつてゐる。この二大事業も亦内外の輿望の厚い橋本市長によつて實現せらるゝ日は近いことと信じてゐる。

珍しく感じたことは、北海道には牛車のないこと。荷車は何れも二輪の大車で之を挽く馬匹は土地柄に體軀の美事なものが多いことである。それからこの荷車を挽いてゐる馬匹の内牝馬の殆んど全部が、轡も手綱も何もつけない當歳の裸馬を同伴してゐることであつて、内地では一寸見られぬ和やかな街頭の風景である。

◇ ×
 × ×
 × ×
 × ×